

高知市の現状及び課題

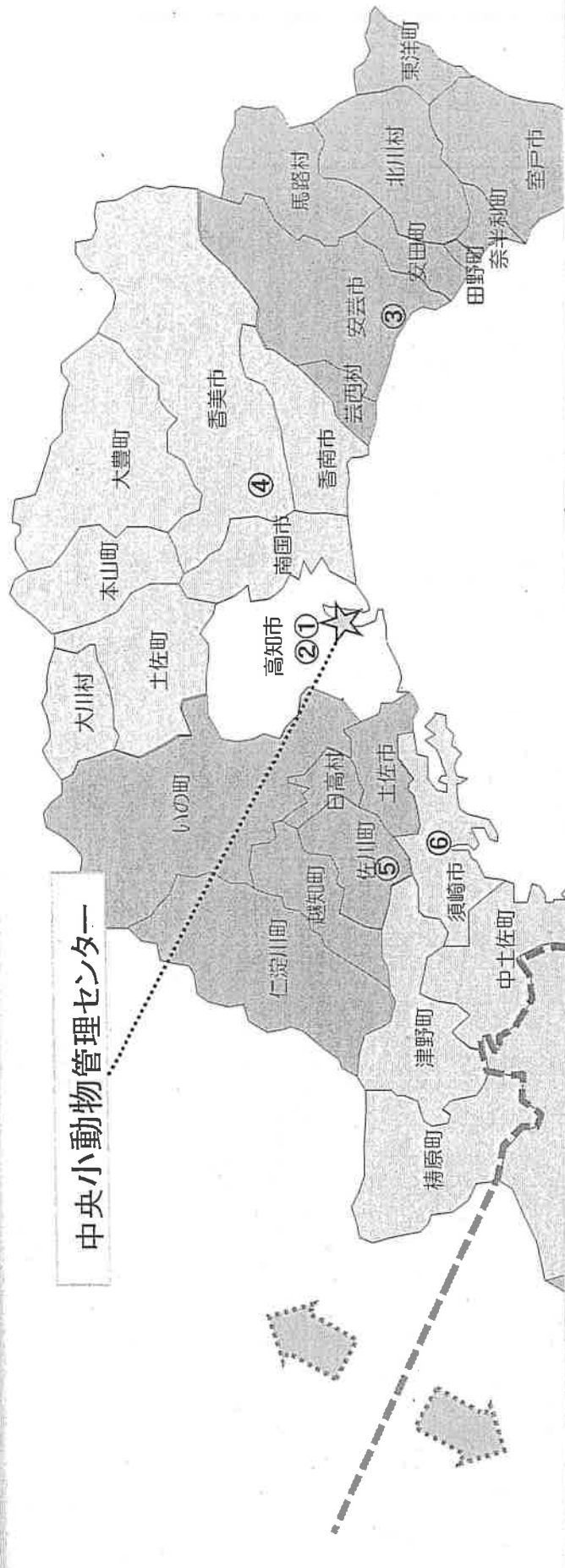
第3回 こうち動物愛護センター(仮称)

基本構想検討委員会 資料

平成30年3月29日

高知市保健所 生活食品課

小動物管理センター等の位置



中央小動物管理センター

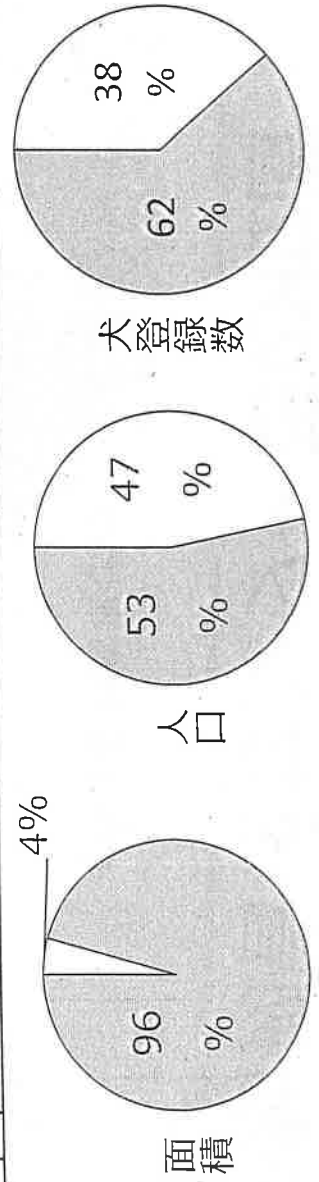
中村小動物管理センター

番号	所属	所在地	動物関係担当人員
①	【県】 食品・衛生課	高知市	チーフ1名、担当3名 ※他業務兼務
②	【高知市】 保健所生活食品課	高知市	係長1名、担当3名
③	【県】 安芸福祉保健所	安芸市	チーフ1名、担当1名 ※他業務兼務
④	【県】 中央東福祉保健所	香美市	チーフ1名、担当1名 ※他業務兼務
⑤	【県】 中央西福祉保健所	佐川町	チーフ1名、担当1名 ※他業務兼務
⑥	【県】 須崎福祉保健所	須崎市	チーフ1名、担当1名 ※他業務兼務
⑦	【県】 幡多福祉保健所	四万十市	チーフ1名、担当1名 ※他業務兼務
☆	中央小動物管理センター	高知市	委託事業者：8名
☆	中村小動物管理センター	四万十市	委託事業者：3名

高知県の状況

	面積 (km ²)	人口 (千人)	人口密度 (人/km ²)	犬登録数 (頭)	人口千人当 りの犬登録数 (頭/千人)
全国	377,972	127,094	336	6,526,897	51
高知県 (全国シェア)	7,104 (1.8%)	719 (0.5%)	101	45,103 (0.6%)	63
高知市	309	334	1,084	17,336	52
県域 (33市町村)	6,795	384	57	27,767	72
安芸福祉保健所 (9市町村)	1,129	47	42	3,866	82
中央東福祉保健所 (7市町村)	1,546	119	77	8,710	73
中央西福祉保健所 (6市町村)	1,153	78	67	5,572	72
須崎福祉保健所 (5市町)	1,405	55	39	4,176	76
幡多福祉保健所 (6市町村)	1,562	85	55	5,443	64

※面積・人口：高知県のすがた2017 (統計課)
 ※犬登録数：全国 環境省ホームページ (H27年度)
 高知県 県及び高知市調べ (H28年度)



高知市の状況

人口	334(千人)	中核市	34/48
人口密度	1,084(人/Km ²)	中核市	24/48
		政令・中核・特例市	65/104
高齢化率(H26.4.1)	26.06%	高知県	32.85%
森林率	55.5%	高知県	83.9%

高知市健康づくり計画 アンケート(H29.6実施)

終生飼養義務の周知割合	68.8%	N=1,616
地域猫活動の周知割合	11.4%	N=1,616
ペットを飼っている	30.0%	H22全国世論調査 34.3%(N=1,939)
猫の完全室内飼養	71.9%	N=153
猫の不妊去勢手術実施率	79.1%	H22全国世論調査 72.3%(N=206)

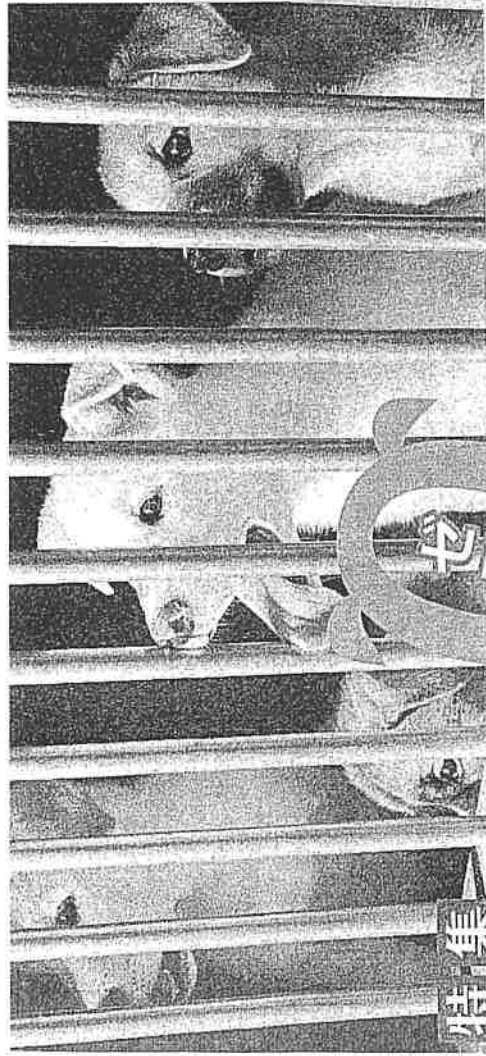
これまでの取組

1 動物愛護及び適正飼養の普及啓発

- 犬猫の飼い方講習会(年間6回を担当)
- 犬のしつけ方教室(会場提供及び運営支援)
- 狩猟犬に関する指導(市内で開催される狩猟免許更新講習会)
◎ 県と連携・共同して地域、回数を分担しながら開催
- 動物愛護・いのちの教室(ふれあい無し)
- ◎ 市独自で幼・保育園～大学生まで幅広く、獣医師職員が対応。
依頼者と事前打合せして内容を決める。

【H29事例】

- ・ 小高坂小4年生 保護者主催参観日(保護者含80人)
- ・ 土佐女子中3年生 講演会形式(教員含200人)
- ・ 秦小放課後児童クラブ(指導員含41人)
- ・ 一宮小一宮児童館(指導員含13人)
- ・ ヒューマンキャンパス高校高知 自由課題授業(教員含20人)
- ※ 小学校校長連絡会にて開催募集チラシ配布
- ※ 「あなたに届け隊 出前講座」(広聴広報課発行)
- 市広報誌「あかるいまち」にて動物愛護管理特集掲載(年2回)



特集

殺処分

ゼロ

をめざして

平成26年度に全国で殺処分された犬は21,593頭、猫は79,745匹。高知市で殺処分された犬は41頭、猫は639匹でした。平成16年度と比べると、高知市の犬の殺処分数は10分の1以下、猫についても3分の1以下と減少傾向にあります。平成16年度と比べると、高知市の犬の殺処分数は10分の1以下、猫についても3分の1以下と減少傾向にあります。また、殺処分された猫の約95%は、飼い主のいない猫(野良猫)が産んだ生まれたばかりの子猫でした。

命は大切なもの

身近な犬や猫などのペットだけでなく、豚などの産畜動物(豚や鶏)、イシタヌキなどの野生動物など、わたしたちはさまざまな動物たちと関わりを持ちながら生きています。また、動物たちにも「食べる・寝る」などの要求や、「喜び・怒り」など、人と同じように感情があり、そして一つしかない命があります。

人は、自分たちが食べるためや、生き残るためなど、やむを得ず動物の命を奪うことがあります。しかし、ただ「飼うのが嫌になった」「ペットが子どもを産みすぎた」これ以上は飼えない」「ペットが病気になる治療費がかさむ」などといった、自分たちの都合を優先するだけの動物の命を奪うことは、決して許されることはありません。

犬や猫は、日頃生活の中で周囲の人の言葉や声やし、人間関係を円滑にしてくれたり、さまざまなかたちでわたしたちの心を豊かにしてくれ、かけがえのない存在であり続けます。また、ペットとの触れ合いが、他人への思いやりの気持ちを育み、命の大切さや責任の重さを感にさせてくれます。

しかしながら、全国で年間約10万匹の犬や猫が処分されているのが現状なのです。



▲市内で運搬されていた子猫たち

殺処分ゼロの国へ

日本は、先進国の中では殺処分が最も多い国として知られています。動物愛護法が先進的な欧米諸国では、日本よりもはるかに少ない殺処分数となっています。

これらの国では、犬猫の飼育・販売の規制強化、飼い主への責任の徹底、適正飼養の普及などの対策に加え、国民一人一人の犬や猫への愛護意識が大きくなり、殺処分の抑制につながっています。

日本を含む先進国でも、希少な野生動物の保護だけでなく、身近に存在する犬や猫などの殺処分数をなくす取り組みが積極的に行われようとしています。

殺処分数をゼロにするために、まずは理想を語り、一人一人ができることから始めてみませんか。



特集

動物を愛し護るということ

地球にはたくさんの命が住んでいます。犬や猫などのペットは、昔から人間の身近な存在として共に生きてきました。毎年9月20日〜26日は動物愛護週間です。動物を飼っている人も飼っていない人も、好きな人もそうでない人も、命の大切さを考えてみませんか。

見られています！飼い主のルールやマナー

☎ 生活食品課 ☎ 822-0588

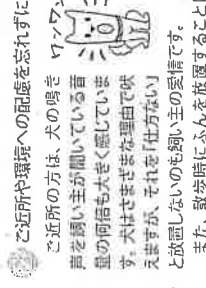
あなたの飼っている犬や猫は、ご近所に迷惑を掛けていませんか。

動物愛護とは、動物をかわいがることだけではなく、動物に対する責任を持ち、ご近所の方を動物愛護にさせないための対応が求められています。しかし、動物

物嫌いな人が増えてしまったり原因の多くは、飼い主のマナーの悪さにあります。また、日頃から気を付けているつもりでも、飼い主が気付かないところで迷惑を掛けていることもあります。飼い主のルールやマナーについて、この機会にご家庭で考えてみませんか。



① 放し飼いや散歩中に放す行為は禁止
犬が敷地外へ出ないように柵の中で飼うか、リード等でつないでください。
散歩の際は必ずリードを付け、犬を制御できる人が散歩させてください。暴走するリードやポタナー一つで伸びるリードは、犬を制御できず人を傷つける原因になります。



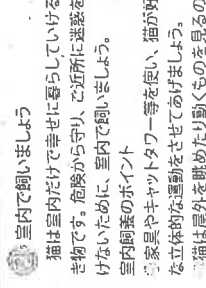
② ご近所や環境への配慮を忘れずに
ご近所の方は、犬の鳴き声を聞いていない音の何倍も大きく感じています。犬はさまざまな理由で吠えますが、それを「仕方ない」と放置しないのも飼い主の愛情です。
また、散歩時にふんを放置することは、ゴミを捨てる行為と同じです。散歩中にしてしまつたふんを持ち帰るのは、最低限のマナーです。できるだけ、排泄は自宅まで済ませてから散歩に出るよう心掛けてください。



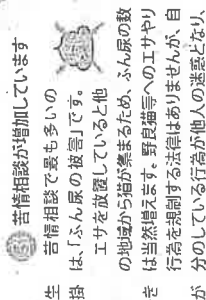
③ 飼い主を判別できるような対策を
登録義務や狂犬病予防法注射等の言葉等への装着は、「狂犬病予防法」で義務付けられています。
また、突然の脱走や痛痛トラップ設置等の災害に備えて、マイクロチップ等を埋め込み、飼い主を判別できるようにすることも有効です。



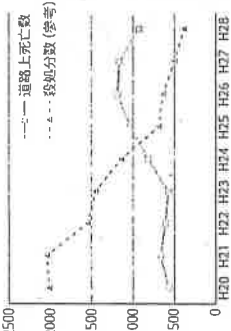
④ 予期せぬ繁殖を防ぐ
屋外に出ている猫は飼い主の知らないところで交尾・出産します。屋外で暮らす猫は子猫のうちには病気になることもあり、平均寿命は4〜5年と短いことが多く、平均寿命は4〜5年と命が消えるという悲しい現実をなくすために、不妊去勢手術は有効です。不妊去勢手術の時期や費用等に関しては、動物病院にご相談ください。



⑤ 室内で飼いましょう
猫は室内だけで暮らすことが望ましい動物です。危険から守り、ご近所に迷惑を掛けないために、室内で飼いましょう。
室内飼養のポイント
多量な運動をさせてあげましょう。
猫は屋外を眺めたり動くものを見ると、好奇心が旺盛で、窓辺に屋外の見え場所を作りたい傾向があります。猫の好奇心を満足させるために、窓辺にエサや玩具を置くことで、猫の好奇心を満たすことができます。



⑥ 苦情相談が増加しています
苦情相談で最も多いのは「ふん尿の被害」です。エサを放置していると、野良猫等へのエサやりは当然増えます。野良猫等へのエサやり行為を規制する法律はありませんが、自分のしている行為が他人の迷惑となり、多額の費用を費やして自前を改善する方がいることを考えてください。
野良猫等にエサを与えるのであれば、最低限の対策（防げたエサの片付け・ふん尿の清掃活動等）を行ってください。また、不妊去勢手術を希望する場合は、不妊去勢手術を希望する方に、早期に不妊去勢手術をしましょう。



完全室内飼育のメリット
① 交通事故にあう危険がない
② 感染症にかかる危険が少ない
③ ご近所トラブルが少なくなる
④ 虐待などの被害にあうことがない

特集2

猫は室内で飼おう！

なぜ完全室内飼育なのか
業界団体の調査では全国の猫の完全室内飼育数は、なんと約953万匹！ペットとなることとがとて多い猫ですが、その飼育には注意が必要です。
高知市で平成28年度に道路上で死亡した猫の数は930匹（参考）。その他に感染症や凍死など、屋外でのリスクはさまざま。また、ご近所ト

ブルの一因となることも。このことから、国や市では室内のみで飼うことを推奨しています。
猫は環境を整えて、話しかけたり遊んだりといまが十分なコミュニケーションをとれば、室内でも快適に過ごせます。また、現在屋外で飼っている猫も根気よく取り組めば室内で飼うことが可能です。
大切な飼い猫に、安全な暮らしを提供してあげませんか。

室内の安全対策

- ① 勝手に外へ出ないように、窓や扉の戸締りを徹底しましょう。
- ② 口にすると危険なものを片付けましょう（観葉植物、文房具など）



猫にとって快適なトイレ環境は「トイレの回数が増える」「トイレの回数が増える」「好きなトイレを使う」「清潔に保つ

トイレ

猫は非常にきれい好きで、トイレにこだわりがあります。



隠れ場所

猫は本来臆病な動物です。驚いたときに猫が逃げ込めるスペースを用意しましょう。



外を眺める場所

窓の外を見たいという刺激が、柔らかい布の上、暖かな場所と与えられ、「退屈」を感じにくくなります。



くつろげる場所

柔らかい布の上、暖かな場所と与えられ、「退屈」を感じにくくなります。



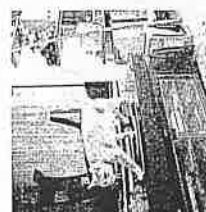
ケージ

子猫のうちから習慣づけて上手に使うとよいでしょう。災害時や入院時にも役に立ちます。



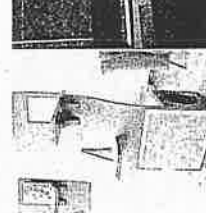
爪とぎ用品

猫は爪とぎの習性があります。家具や柱などで爪を研がないように、専用のものを用意しましょう。



入り組んだ動き回れる空間

上下運動や動き回れる空間があると、猫は自分でエネルギーを消費できるため、人を引っかく等の問題行動の予防になります。



（環境省 普及啓発パネル「猫は室内で飼おう」より）

この記事についての問い合わせは生活食品課 ☎ 822-0588へ

平成29年度

あなたに届け隊

出前講座

市民の皆さんの「知りたい」「学びたい」を応援します



市の職員が皆さんのもとに出向き、暮らしに役立つ情報や、高知市の取り組みなどについてご説明し、市民の皆さんが学べる機会を増やすことを目的とした講座です。
地域の集まりやサークル、グループでの勉強会など、皆さんのご利用をお待ちしています。

あなたに届け隊
出前講座
とは？

【お申し込み・お問い合わせ】

〒780-8571 高知市本町4-1-24 高知市総務部市長公室 広聴広報課
☎(088) 823-9446 ファクス (088) 823-9367

詳しい内容、申込書のダウンロードは

あなたに届け隊 出前講座 検索

※この一覧にない内容についても対応できる場合がありますので、まずはご相談ください。

図 テーマの対象者 図 繁忙期等のためお休み 図 申込時の注意事項

3 くらしと環境

No.	テーマ名 (担当課)	内容	日時	目安時間	特記事項
12	くらしの中の契約 (消費生活センター)	ガムを一つ買うのは契約？ 契約がないと契約にはならないの？ クイズなどを交えながら気軽に契約について学べます。	平日10～17時 (上記以外の日時も応相談)	45分	図 中学生以上 国 7月下旬～8月は平日14～17時のみ
13	広告を見る目を育てる (消費生活センター)	広告を見て申し込むときに気を付けたポイントやインクなどを、参加者同士で探して楽しくワークショップです。	平日10～17時 (上記以外の日時も応相談)	45分	図 中学生以上 国 7月下旬～8月は平日14～17時のみ
14	製品事故を防ぐ (消費生活センター)	便利な道具が隠れた事故を招くことがあります。製品事故の事例やリコール情報から、使用中の製品の安全対策を考えます。	平日10～17時 (上記以外の日時も応相談)	45分	図 中学生以上 国 7月下旬～8月は平日14～17時のみ
15	消費者市民って どんな人？ (消費生活センター)	環境配慮型商品とは？ フードロスって？ わたしたちの消費は社会を動かします。買い物を通して何ができるかを考えるワークショップです。	平日10～17時 (上記以外の日時も応相談)	90分	図 中学生以上 国 7月下旬～8月は平日14～17時のみ
16	訪問販売や電話勧誘 販売の対応方法 (消費生活センター)	突然の訪問販売や、セールスの電話に対応するコツをお伝えします。クーリング・オフ制度を解説した後、制度利用の模擬体験ができます。	平日10～17時 (上記以外の日時も応相談)	45分	図 成人 国 7月下旬～8月は平日14～17時のみ
17	詐欺的商法にご注意 (消費生活センター)	欲や不安感を煽る詐欺的商法や、インターネットを使った架空請求にだまされないために、実際の相談事例を使って注意点を学びます。	平日10～17時 (上記以外の日時も応相談)	45分	図 成人 国 7月下旬～8月は平日14～17時のみ
18	インターネットと 上手に付き合う (消費生活センター)	オンラインゲームなどのトラブル事例を使って、原因や対処方法を考え、それぞれの家庭に合ったルールを親子で考えます。	平日10～17時 (上記以外の日時も応相談)	90分	図 高校生以下と保護者 国 7月下旬～8月は平日14～17時のみ
19	高齢者の交通安全教室 (くらし・交通安全課)	高齢者が関係する事故割合が高いことから、高齢者向けの教習を警察と協力して行います。ユーモアを交えながら楽しく学べる教室です。	9～17時 (休日も可)	30分	▶参加者に放射線等のちよっとしたプレゼントがあります。
20	動物愛護・ いのちの教室 (生活食品課)	人と動物が共に幸せに暮らせる社会の実現をめざして、獣医師などから命の大切さや動物の気持ちについて学びます。	平日9～17時	45分	図 高校生以下 国 3～5月
21	食中毒を予防しよう (生活食品課)	食中毒の予防知識を学べます。一般の消費者向けと事業者向け、どちらでも実施しています。	平日9～16時半	60分	図 1～3月
22	ごみの出前講座 (環境課/環境政策課)	高知市のごみ出しルールや分別方法、ごみの減量に向けた取り組みなど、ごみに関するさまざまなことをお伝えします。	9～21時 (休日も可)	60分	▶駐車場1台必須
23	楽しくお得な エコにチャレンジ！ (新エネルギー推進課)	地球温暖化について学び、何ができるかを考える講座です。ガマンではなく、より快適により楽しくなるエコな取り組みを一緒に考えます。	9～21時 (休日も可)	60分	
24	魚や野菜の流通 (市場課)	卸売市場について学べる講座です。「麗り」のしくみや卸売市場の役割を通じて、魚や野菜が食卓に並ぶまでのしくみを学習できます。	9～21時 (休日も可)	45分	図 小学生以上

1. 「宣誓！無責任飼い主0(ゼロ)宣言」

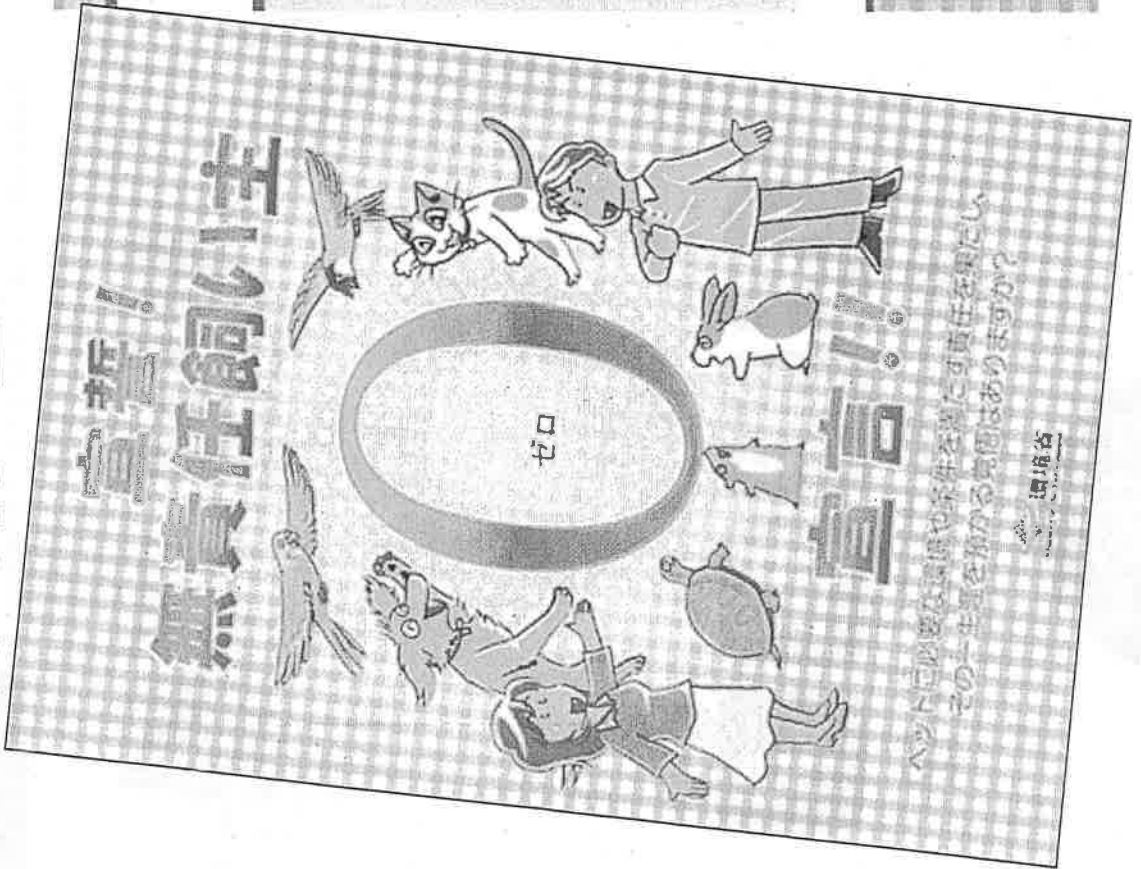
ペットの飼い主のルールやマナーに関する啓発冊子

(環境省)

ペットの飼い主のみならずへ

飼い主一人ひとりが責任を果たせば

「引取り数」も「殺処分数」も減らせます



全国の犬・猫の引取り数、殺処分数(平成25年度)



平成25年度に全国の自治体の保健所や動物愛護センター等に引き取られた犬猫の総数は176,295頭

そのうち飼い主からの引取りは約5分の1(36,937頭)でした



飼い主からの引取り

計25,168頭

成猫11,462頭

幼猫13,706頭

成犬23,606頭

幼犬66,710頭

所有者不明としての引取り

計90,316頭

成猫23,606頭

幼猫66,710頭

飼い主からの引取り

計11,769頭

成猫30,096頭

幼猫1,673頭

成犬39,726頭

所有者不明としての引取り

計49,042頭

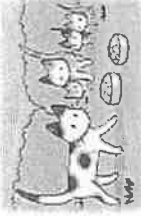
成猫9,316頭

成犬39,726頭

まずは飼い主からの引取りを減らすことが重要です

無責任にエサを与える行為は不幸な命を増やすことも...

自治体に引き取られる犬猫のうち、約半数が子猫です。不妊手術や接種を行わず、かわいそうだからと無責任にエサだけを与える行為は本当に危ないです。殺処分することによって、かわいそうか？不幸な命を産み出さないようにすることが、私たちに求められています。



引き取られた犬猫の年齢



これまでの取組

2 収容動物の削減

- 法施行規則第21条の2(引取り拒否要件)の適切な運用
- 猫の不妊去勢手術費補助(飼猫、野良猫TNR) H24.9～

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
不妊手術(匹)	219	565	568	556	572
去勢手術(匹)	126	384	420	445	417
合計(匹)	345	949	988	1,001	989

- 地域猫活動の周知・啓発
 - ・チラシ、冊子作成配布
 - ・説明会開催(各町内会、町内会連合会、衛生組合連合会、公園愛護会等)
 - ・地域猫セミナー(主催:高知地域猫の会)の共催(年1回)
 - ・地域猫行政向セミナー開催(県内市町村、公的施設対象)
- 地域猫活動支援助成金制度(H30.4.1～)
 - ・活動費用、不妊去勢手術費用の一部助成

高知市 犬・猫保護等の状況

[犬]

		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
飼主不明	親	95	129	110	104	105	85	81	82	72	49
	子	82	89	56	60	49	35	32	12	19	8
小計		177	218	166	164	154	120	113	94	91	57
飼犬引取	親	131	107	110	81	37	24	10	5	1	11
	子	67	61	60	19	6	5	0	0	0	0
小計		198	168	170	100	43	29	10	5	1	11
負傷		3	4	5	1	4	1	2	2	5	2
合計		378	386	336	265	201	150	125	101	97	70
返還頭数	親	35	54	45	59	77	39	47	44	46	23
	子	2	5	1	0	3	0	0	0	0	1
合計		37	59	46	59	80	39	47	44	46	24
譲渡頭数	親	8	17	20	16	5	22	17	39	26	32
	子	40	55	73	38	18	24	21	11	0	3
合計		48	72	93	54	23	46	38	50	26	35
処置頭数	親	184	167	158	111	62	52	27	6	1	0
	子	100	86	52	39	36	11	13	3	18	8
合計		284	253	210	150	98	63	40	9	19	8

[猫]

		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
飼猫引取	親	93	103	52	84	72	26	6	0	0	0
	子	579	521	315	233	141	87	5	17	0	0
小計		672	624	367	317	213	113	11	17	0	0
飼主不明	親	/	/	/	/	/	/	/	21	1	0
	子	1,347	1,365	1,156	1,101	899	560	602	483	378	231
小計		1,347	1,365	1,156	1,101	899	560	602	504	379	231
負傷猫保護	親	28	31	24	16	22	14	21	28	27	10
	子	2	2	2	3	8	2	5	12	0	2
小計		30	33	26	19	30	16	26	40	27	12
合計		2,049	2,022	1,549	1,437	1,142	689	639	561	406	243
返還頭数	親	/	/	/	/	/	2	0	4	2	0
	子	/	/	/	/	/	0	0	0	0	0
合計		0	0	0	0	0	2	0	4	2	0
譲渡頭数	親	/	/	/	/	/	/	/	29	13	8
	子	/	/	/	/	/	/	/	0	1	3
合計		0	0	0	0	0	0	0	29	14	11
処置頭数		2,018	2,045	1,545	1,451	1,146	688	639	499	378	225

※H27以降、収容中死亡を除外

2. 「猫の殺処分削減に向けて」

猫の殺処分削減啓発リーフレット（高知市保健所）



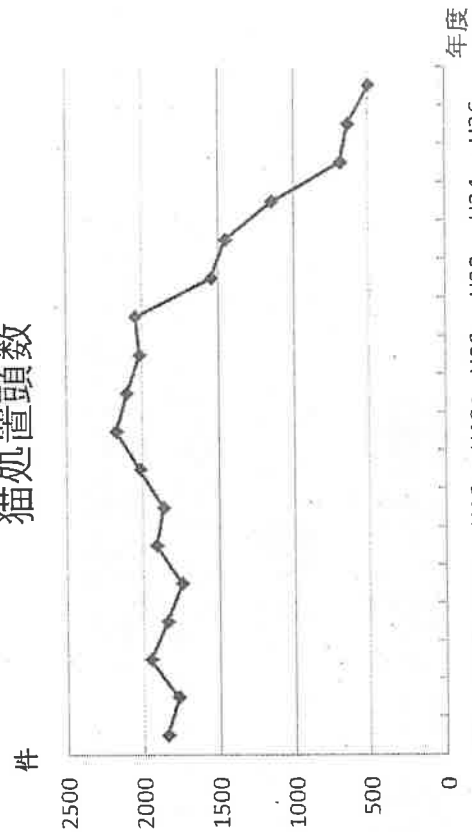
動物の殺処分ゼロを目指して

平成26年度高知市で殺処分された猫の数は639匹です。

「高知県動物愛護管理推進計画」の中で、動物殺処分数削減目標を掲げて取り組んでいます。

平成26年度高知市で殺処分された猫のうち、98%は飼主不明（またはいない）の猫です。そのうち95%は離乳前の子猫です。これ以上ノラ猫を増やさないよう、無責任なエサやりはやめましょう。エサをやるならきちんと管理しましょう。

猫処置頭数



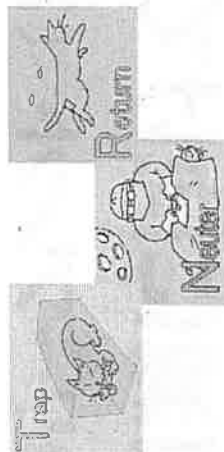
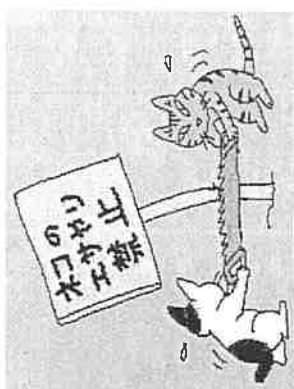
4. 「町会長のための野良猫講座」

野良猫の実態と世論の流れと法律から、猫問題を考える
 いわゆる“地域猫”についての理解をしていただく冊子
 (日本捨猫防止会作成/高知市版)



もくじ (抜粋)

- 野良猫の苦情
- 「エサやり禁止」で野良猫は
いなくなるのか？
- 今や殺処分は支持されない
- まだ仔猫を処分しつづけるのか
- 猫との共存 TNRの手法
- エサやりさんに言うべき事は
変わってきた保健所の対応
- エサやり禁止から不妊手術へ
.....など



「長会長のための野良猫講座」より

これまでの取組

3 収容動物の処分状況

●犬の処分率

*ALIVE H25

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	10位	38位
返還率(/收容—引取)	32.2%	40.9%	52.1%	47.9%	40.7%	58.0%	21.5%
譲渡率(/收容—返還)	41.4%	48.7%	87.7%	50.9%	76.1%	62.0%	25.0%
殺処分率(/收容—返還)	56.8%	51.2%	15.8%	39.2%	17.4%	35.4%	75.5%
生存率(返還+譲渡/)	56.7%	68.0%	93.1%	74.2%	84.3%	77.0%	36.1%

●猫の処分率

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	10位	38位
返還率(/收容—引取)	0.3%	0%	0.7%	0.5%	0.4%	—	—
譲渡率(/收容—返還)	—	—	5.2%	3.5%	4.5%	16.6%	3.2%
殺処分率(/收容—返還)	101.5%	100%	89.6%	93.6%	93.4%	77.4%	97.1%
生存率(返還+譲渡/)	—	—	5.9%	3.9%	4.5%	23.2%	3.8%

これまでの取組

- 犬及び猫のボランティア譲渡実施に関する指針(H28.10.1策定)
 - ・登録ボランティア 0件
- 犬及び猫の譲渡推進助成金制度(H30.4.1～)
 - ・不妊去勢手術費用の一部助成
 - ・マイクロチップ埋め込み費用の一部助成

高知市の課題

1 狂犬病予防法業務の効率化、合理化

- 登録数、接種率の向上
- 集合注射の効率化

2 動物愛護管理の普及啓発

- 講習会、教室の効果的な広報
- 動物愛護・いのちの教室のプログラム化
- 高齢者や障害者等への福祉的アプローチとケースワーク
- しつけの知識・技術の習得

3 協働のための体制整備

- ネットワーク構築
- ボランティアの育成、支援、指導

4 動物関連リスクマネジメント

- 災害時対応マニュアルの作成
- VMATT
- 狂犬病サーベイランスへの対応
- 狂犬病発生時

